

本時の学習(〇/〇)

1<ねらい> ~~~~~~中心的な学習活動(手立て)~~~~~を通して、〇〇(本時に身に付けさせたい力)をできるようにする(させる)。

2<展開>

| 主な学習活動 | 時間 | 指導上の留意点及び学びの共同体について |
|---|------------------|--|
| <p>1 導入(全体) 〇魅力ある導入から課題をつかむ ・既習事項とのズレのある課題 ・前時の振り返りの児童生徒の疑問 } めあてに つながる</p> <p>2 めあての確認(本時のゴール) ※共有の課題 ・何が分かればよいか全体で共有 ※教師の一時的な設定でなく、児童生徒とのやり取りの中から設定</p> | 3 5 | <p>〇学びに向かう姿勢をすぐにつくる ・挨拶はシンプルに！(立って挨拶は×) ・グループの活動を授業開始すぐ始める。(前時の確認でも可) (授業開始3~5分以内にグループの活動を入れる) ・具体物や写真(図)を使った課題提示</p> |
| <p>3 共有の課題(ペア・グループ) ・教科書レベルの課題 基礎的・基本的な問題 ・身に付けさせたい知識や技能を端的につかめるような課題に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇聴き合う雰囲気を取り組む ・困ったら「こどうすればいい?」「教えて」と自分から声をかける。 ・教える児童生徒は、分かるまで説明したり、確認を取ったりする。 ・一人で取り組んでも良い。 ・チラ見をしてヒントを得るのも良い。 ↑ここから「なんで?」「どうして?」 ・全員が解決することを目指す</p> </div> <p>4 全体で共有 ・児童生徒の考えを全体で共有し、基礎的・基本的な知識、技能を身に付ける。</p> <p>5 本時のめあてに対するまとめを確認する ・ペアやグループでの課題追究や全体共有から本時の学びをまとめる。</p> | 1 5 2 0 | <p>〇聴き合う雰囲気をつくる ・教師が一時的にしゃべらない (教師の発言3割。目指せ9分以内!!) ・落ち着いた雰囲気をつくる。 ・手が止まっている児童生徒には、友達に聞くように促す。 ・声量は静かに。つぶやきを大切に(ぼそぼそ・ひそひそ) つぶやき=思考とコミュニケーションの間</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇「聴く」「つなぐ」「もどす」ための発問・切り返し ・「Aさんの意見を聞いて、どう思う?」(聴く・つなぐ) ・「どうしてそう思うの?」(聴く) ・「Aさんが言いたいことはどういうこと?」(つなぐ) ・「~と聞いていたけど、どういうこと?」(つなぐ) ・「Aさんの意見と似ている人は?」(つなぐ) ・「もっと詳しく話せる人?」(つなぐ) ・「グループ(ペア)で確認して」(グループやペアにもどす) ・「どこからそう思ったの?」(文章や考えにもどす) ・「前にも同じようなことはあった?」(既習事項にもどす)</p> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇共有の課題は丁寧に ・全体共有は必要があるところや分からなさがあるところを取り上げる。 ・児童生徒の言葉をつなぎながら、共有を図る。 ・解決の様子によって、全体共有が必要か判断する。</p> </div> <p>〇全体共有での内容をそのまま「まとめ」として扱うのも有効。 ※ここまでに本時のねらいを達成できるようにする。</p> |
| <p>6 ジャンプの課題(ペア・グループ) ・難易度の高い問題に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇学び合いを通じて課題解決 ・じっくり考えてみる。 ・友達に聞いてヒントや解決策を得る。 ・友達に伝える中で、考えを整理する。 ・足場架けの際に、分からなさや分かっていることを共有する。</p> </div> | 2 0 | <p>〇ジャンプの課題とまとめの順番は教科の特性や課題の内容によって順番が入れ替わることもある。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇ジャンプの課題は大胆に ・クラスの3分の1が解けるような難易度設定。 ・解けそうで解けない問題、一人では解決できない課題を提示。 ・本時の学習を生かしながら解ける課題設定。 ・ジャンプの課題を通して、探究的で協同的な学びを促す。 ・夢中になれるような課題設定。</p> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇足場架けを行う ・グループでの学習は一回6~7分程度とし、全体にもどす。 ・児童生徒の分からなさを共有し、足場架けを行う。 ① 教師からのヒント.....効果「小」 ② できたところまでを確認.....効果「中」 ③ 分からないところを共有.....効果「大」 ・足場架けは授業の中で2~3回あると良い。</p> </div> <p>〇ジャンプの課題の答え合わせはなくても良い。←学びの継続</p> |
| <p>7 振り返り</p> | 2 | <p>〇本時の学習で分かったことやできたこと、疑問に思ったことなどを振り返らせる。</p> |

◆評価項目(例:思・判・表)

・ワークシートの記述内容から(A)、「~~~~~について考え、表現しているか」(B)を評価する。

〇学習環境は、低学年はコの字型、中学年からは3~4人グループ。男女比や学力はバランスよく配置する。なるべく同性は斜めの席に配置する。学力の低い児童生徒は、4人グループにいと望ましい。

〇低学年は、終始ペア活動としコミュニケーションの言語の発達を促す。